

2019年5月9日

各位

株式会社ヤクルト本社  
公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

## ヤクルト本社とボーイスカウト日本連盟が おなかの健康を考える小学生向けプログラム 「おなかエキスパート」を共同開発

株式会社ヤクルト本社（東京都港区、社長 根岸孝成）と公益財団法人ボーイスカウト日本連盟（東京都杉並区、理事長 奥島孝康）は、全国の小学3～5年生を対象に“おなかの健康”について学ぶ機会を提供する「おなかエキスパート」プログラムを共同開発しました。

ヤクルト本社の「生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献する」という企業理念と、ボーイスカウト日本連盟の「より良い社会を創るために青少年の健全な心と体の育成に貢献する」という活動理念が合致したため、今回の共同開発に至りました。

今回新しく開発したプログラム「おなかエキスパート」は、日々の健康を保つために消化管の役割や排せつすることの大切さを学び、行動を促す内容となっています。ボーイスカウトの活動のなかで同プログラムに挑戦し、リーダーから「おなかエキスパート」と認められることで、腸のイラストがデザインされた「おなかエキスパート」バッジが取得できます。

また、本プログラムで使用するワークブックは、ボーイスカウト日本連盟の特設サイトから自由にダウンロードすることができ、ボーイスカウト加盟員以外にも広く活用を呼びかけていきます。

同プログラムは6月以降に全国のボーイスカウトで展開していきます。

・ボーイスカウト日本連盟の特設サイト「おなかエキスパート」

[https://www.scout.or.jp/member/department/program\\_partner/onaka\\_expert/](https://www.scout.or.jp/member/department/program_partner/onaka_expert/)



「おなかエキスパート」バッジ

### 【バッジシステムについて】

ボーイスカウト運動は、健やかな子どもを育成する世界的な運動です。特徴的な教育制度として、「バッジシステム」というものがあり、子どもたち自身が興味のある分野や人の役に立つためのスキルを身につけるために、いろいろなテーマ（バッジ）に挑戦します。

## 【ご参考】

### 株式会社ヤクルト本社について

ヤクルトの創業は1935年。「一人でも多くの人に健康を届けたい」と願った医学博士 代田 稔（しろた みのる）が、生きて腸にとどいて有用なはたらきをする乳酸菌の強化培養に成功し、乳酸菌飲料として世に送り出したことから始まります。乳酸菌飲料をはじめとする食品、そして乳酸菌のチカラ<sup>※</sup>ですこやかなお肌に導く化粧品、がん領域を中心とした医薬品と、製品の幅を広げました。

現在は、生命科学を追究する研究とそれに基づく製品開発、高度な品質管理のもとで行う生産、ヤクルトレディによる宅配や店舗などで商品を販売するといった事業を展開しています。食品事業は日本のみならず、世界にも広がっています。

当社は、過去にボーイスカウト日本連盟が主催する大型キャンプ大会（ジャンボリーやアグーナリー）において、プログラム協賛や大会への飲料提供などを通じて青少年の健康維持に貢献しています。

※乳酸菌由来の保湿成分

### ボーイスカウト日本連盟について

ボーイスカウトは世界170の国と地域で約4,000万人が参加する世界最大級の青少年運動です。

1907年に英国で誕生し、日本では1922年に日本連盟が創設。現在では、全国で約10万人が活動し、野外活動や社会貢献活動、国際交流などを行っています。